

第3回 容量市場の在り方等に関する勉強会 議事要旨

1. 開催状況

日時：平成29年6月22日（木） 18:00～20:00

場所：電力広域的運営推進機関 豊洲事務所 会議室A・会議室B・会議室C

出席者：

安念 潤司 座長（中央大学法科大学院 教授）

秋元 圭吾 委員（公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー・主席研究員）

秋山 一也 委員（株式会社エネット 経営企画部長）

市村 拓斗 委員（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

大山 力 委員（横浜国立大学大学院 工学研究院 教授）

岡本 浩 委員（東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役 経営技術戦略研究所長）

沖 隆 委員（株式会社F-Power 副社長）

菅野 等 委員（電源開発株式会社 執行役員 経営企画部長）

小宮山 涼一 委員（東京大学大学院工学研究科附属レジリエンス工学研究センター 准教授）

坂本 邦夫 委員（東北電力株式会社 電力ネットワーク本部 電力システム部 技術担当部長）

佐藤 裕史 委員（東京ガス株式会社 電力トレーディング部長）

津田 雅彦 委員（関西電力株式会社 総合エネルギー企画室 需給企画担当室長）

林 泰弘 委員（早稲田大学大学院先進理工学研究科 教授）

松塚 啓一 委員（伊藤忠エネクス株式会社 常務執行役員 電力・ガス事業グループ 電力・ユーティリティ部門長）

松村 敏弘 委員（東京大学 社会科学研究所 教授）

圓尾 雅則 委員（S M B C日興証券株式会社 マネージング・ディレクター）

新川 達也 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 総務課長）

佐合 達矢 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 取引監視課長）

欠席者：

秋池 玲子 委員（ボストンコンサルティンググループ シニア・パートナー & マネージング・ディレクター）

恒藤 晃 オブザーバー（電力・ガス取引監視等委員会事務局 ネットワーク事業監視課長）

議題：

（1）容量市場の地理的範囲について

（2）容量市場の価格形成の在り方（需要曲線について）

資料：

（資料1）議事次第

（資料2）容量市場の在り方等に関する勉強会委員名簿

（資料3）容量市場の地理的範囲について

（資料4）容量市場の価格形成の在り方（需要曲線について）

2. 議事概要

- 事務局より、資料3に沿って、容量市場の地理的範囲について説明が行われた。
- 事務局より、資料4に沿って、容量市場の価格形成の在り方について説明が行われた。
- 出席者の全員からさまざまな意見が出された。その概要は以下の通りであった。

<資料3について>

- ・経済性の観点から全国市場とすべきであり、安定供給の観点から連系線制約を考慮すべきであることから、OP.1が好ましい。
- ・地域間値差が発生した場合の小売負担は、地域特性を踏まえたものにするべきである。
- ・剰余金の扱いについてはスポット市場との関係や、連系線増強の必要性といった上位の概念との整合性を考えるべきである。

<資料4について>

- ・需要曲線の引き方は、小売事業者の納得が得られるように引くこと、すなわち公平性、透明性が重要である。
- ・市場価格のボラティリティ抑制の観点から、需要曲線は、垂直型ではなく、傾斜型とすることが適当。その場合の調達量は、信頼度に対するコスト負担の納得性にも配慮して議論するべきである。
- ・需要曲線の価格基準は、他市場からの収益や制度との整合性を考えるべきである。

以上